

地方はいま

⑧

公共交通機関が少ない地方と全国に比べ大幅に遅れていると、生活や経済活動の。土砂災害危険箇所も約2中心は車だ。島根県の溝口善兵衛知事は、「地域の振興を」目も多く、対策が必要な箇所考える時、高速道路網の整備が約5000カ所残っている「は不可欠」と強調。整備中の。早期に取り組む必要がある中国横断自動車道尾道松江線の早期開通、山陰自動車道の整備促進に期待を寄せるとも、「道路がどうして必要なのか、地方から訴えていかなければならない」と語る。

また、「豊かな地域社会を再構築することが今後の日本に「重大」と指摘。そのために必要」と訴える。

島根県の社会資本整備の状況は。「高速道路網の整備率は55%、国・県道の改良率は63%」

島根県 溝口 善兵衛氏



「国への要望は。事業評価では産業振興によるプラスの効果なども勘案すべきだ。特に、社会資本の中では、産業振興とい

地域振興に基幹インフラ不可欠

「地域間の格差をある程度縮小し、さらには遅らせよう」というのは不公平だ。基幹インフラ整備の水準が20〜30年遅れているところを残すままでは、一方では（高速道路料金など）無料にするというのでは理解は得られない。政治が目指すべきものは「公平」だ。基幹的な道路と道路整備が非常に重要だ。工場の誘致を進める上で、やはり大都市との時間的な距離が大きい障害となっている。観光や地域医療の面からも、高速道路の全国的なネットワークに感ずる。一つには国際的な競争が激化し、効率重視の高速道路の全国的なネットワークに感ずる。一つには国際的な競争が激化し、効率重視の高速道路の全国的なネットワークに感ずる。一つには国際的な競争が激化し、効率重視の高速道路の全国的なネットワークに感ずる。

政治が目指すべきは「公平」

を再構築すること。大都市の過密と地方の過疎という両極端の不健全性を改善するには、地方に人を戻すための政策が必要であり、その典型が高速道路の整備だ。「情報網は飛躍的に発達し、都市との実質的な情報格差は少なくなった。地方にいても世界を相手に仕事ができる。地方に少し手を加えることでさらに住みやすくなる。人口や産業が分散することで日本全体としてバランスの取れた発展が可能になる」

「新しい事業への参入などに長期的な展望で取り組むことが必要だ。島根県では10年度の単独事業費を増やすなど、景気対策とともに建設工事が急激に変動しないよう手当てした。今後も、さまざまな面から支援していく」。

（中国総局・高田智）
＝随時掲載します＝